

<福島県知事賞>

無料じゃないよ

福島市立平野中学校

3年 片山 くるみ

私たちは、普段あたりまえのように生活していますが、それは税金のおかげです。税金は、私たち学校の教科書や教育、公共施設などに使われています。もし、税金が無かったら、火事になってしまい火を消したい時などに交通費や火を消すための水道代や人材など様々な経費を支払わなければなりません。また、その経費は莫大な金額になります。このような大きな負担を解決してくれるのが税金です。

私の住んでいる市では、子育て支援の一環として18歳まで医療費助成制度があります。これは市に居住する健康保険加入者で義務教育終了までの子ならば、入院や通院ともに保険診療分の自己負担額を全額助成してくれる制度です。

私もその制度に何度も助けられたことがあります。小学校低学年の頃手首を骨折したことがあります。その時救急車で病院に運ばれて手術し、入院した時や部活での練習試合で足首にヒビが入った時など医療費助成制度を改めて有難いと感じました。

無料だからといって必要以上に多く薬をもらったり、意味なく何度も検診したりすることは税への負担となってしまいます。本当にその薬を必要としている人や、今すぐにでも検診してもらわなきゃいけない人達もたくさんいます。

「無料」とは、お金がかかっていない訳ではありません。私たちのために築きあげられた、多額の税金の支えによるものなのです。

私は今まで税金についてあまり考えたことがありませんでした。しかし、今回改めて税金について調べてみて税金の使い道やしくみなど様々なことを知ることができ、税金のありがたみも分かりました。これからは、身のまわりの税金に目をむけ、教科書など

も感謝して大切に使いたいと思いました。

私たち中学生でも色々な場面で、このような税金の支えによる無料に遭遇しています。その時は、あたりまえのように使うのではなく、税金のありがたさを実感し、正しく大切に使い、決して無駄遣いのないように生活していきたいです。